

2012年3月期 第2四半期 決算説明会

株式会社 **サニックス**
2011年11月10日

(注) 数値については、単位未満を切り捨てて表示しております。

SANIX FOR SANITARY AMENITY

目 次

- | | |
|-----------------------------|--------------|
| 1. 2012年3月期 第2四半期の概況 | P. 1 |
| 2. 2012年3月期 業績見通し | P. 10 |

免責事項

本資料には、将来の業績予測に関する記述が含まれています。こうした将来の業績予測に関する記述は、将来業績を保証することを意図するものではなく、一定の前提条件と経営陣の現時点で入手可能な情報に基づく判断に基づくものです。従いまして、将来時点における実際の収益及び業績は、こうした将来の業績予測に関する記述と大きく異なる可能性があります。

以下の要因により、将来時点における当社の業績は、本資料内の将来の業績予測に関する記述と大きく異なる可能性があります。

日本の景気動向、日本のサービス業の業績動向、他のサービス業者との競争環境、技術革新、規制環境、法律環境及びその他の弊社の予測を超える様々な要因

本資料は当社が発行する証券への投資を勧誘することを企図した資料ではありません。本資料に含まれる情報に基づいて発生した損失・債務に関して、当社は一切の責任を負わない旨をご了承下さい。

2012年3月期 第2四半期の概況

第2四半期 決算概況

当第2四半期累計実績については、前期比増収減益

売上高	：	15,452百万円	（前期比増減額	+843百万円）
営業利益	：	266百万円	（前期比増減額	△865百万円）
経常利益	：	237百万円	（前期比増減額	△853百万円）
当期純利益	：	△0百万円	（前期比増減額	△806百万円）

◆売上高◆

HS事業部門及びES事業部門においては、太陽光発電システム販売が堅調に推移したこと、環境資源開発事業部門においては、資源循環型発電事業、及び有機廃液処理が堅調に推移したことにより、前期比増収となった。

◆利益面◆

HS事業部門及びES事業部門において、原価率の高い太陽光発電システムの販売比率が上昇したほか、環境資源開発事業部門苫小牧発電所において、安定的連続運転に万全を期すため、定期修繕時に前年同期を超える修繕費を計上したため、売上原価が増加し、前期比減益となった。

第2四半期 損益の実績と計画差異

(単位:百万円)	2011/3期		2012/3期					
	第2四半期累計		第2四半期累計					
	実績値	売上比	実績値	売上比	前期比	計画値	計画比	計画差異
売上高	14,609	100.0%	15,452	100.0%	105.8%	17,410	88.8%	△ 1,957
H S 部門	8,681	59.4%	8,868	57.4%	102.2%	10,910	81.3%	△ 2,041
E S 部門	1,322	9.1%	1,341	8.7%	101.4%	1,672	80.2%	△ 330
環境資源	4,605	31.5%	5,243	33.9%	113.8%	4,828	108.6%	415
売上原価	8,509	58.3%	10,060	65.1%	118.2%	11,629	86.5%	△ 1,568
売上総利益	6,099	41.7%	5,392	34.9%	88.4%	5,781	93.3%	△ 388
販管費	4,966	34.0%	5,125	33.2%	103.2%	5,516	92.9%	△ 390
営業利益	1,132	7.8%	266	1.7%	23.6%	265	100.7%	1
経常利益	1,090	7.5%	237	1.5%	21.8%	240	98.8%	△ 2
当期純利益	806	5.5%	△ 0	—	—	30	—	△ 30

■売上高は、環境資源開発事業部門が堅調に推移し、計画比増収。HS事業部門及びES事業部門は、太陽光発電システム販売が、計画を下回った。
 利益面では、HS事業部門において利益率の高い既存商品販売が計画比増収となったほか、引き続き固定費削減に注力した結果、営業利益・経常利益はほぼ計画通りとなった。なお、当期純利益については法人税・住民税及び事業税が当初想定を上回ったため、予想値を下回った。

第2四半期 セグメント別損益の実績と計画差異

(単位:百万円)	2011/3期		2012/3期						
	第2四半期累計		第2四半期累計						
	実績値	前期比	実績値	売上比	前期比	計画値	計画比	計画差異	
HS部門	売上高	8,681	120.4%	8,868	100.0%	102.2%	10,910	81.3%	△ 2,041
	売上総利益	5,008	104.0%	4,477	50.5%	89.4%	4,717	94.9%	△ 239
	販管費	2,748	101.1%	2,837	32.0%	103.2%	3,122	90.9%	△ 284
	営業利益	2,260	107.7%	1,639	18.5%	72.5%	1,595	102.8%	44
ES部門	売上高	1,322	107.6%	1,341	100.0%	101.4%	1,672	80.2%	△ 330
	売上総利益	500	96.2%	427	31.9%	85.4%	580	73.7%	△ 152
	販管費	383	86.7%	439	32.8%	114.7%	466	94.3%	△ 26
	営業利益	117	149.7%	△ 12	—	—	114	—	△ 126
環境資源	売上高	4,605	127.4%	5,243	100.0%	113.8%	4,828	108.6%	415
	売上総利益	589	—	487	9.3%	82.7%	484	100.8%	3
	販管費	778	101.3%	758	14.5%	97.3%	744	101.9%	14
	営業利益	△ 188	—	△ 270	—	—	△ 260	—	△ 10
配賦不能	営業利益	△ 1,056	—	△ 1,090	—	—	△ 1,184	—	93

第2四半期 損益の実績と計画差異

(単位:百万円)	2012/3期						
	第1四半期			第2四半期			
	実績値	計画値	計画差異	実績値	計画値	計画比	計画差異
売上高	7,505	7,828	△ 322	7,947	9,582	82.9%	△ 1,634
HS部門	4,463	4,840	△ 376	4,405	6,070	72.6%	△ 1,664
ES部門	677	765	△ 87	663	907	73.2%	△ 243
環境資源	2,364	2,223	141	2,878	2,605	110.5%	273
売上原価	5,209	5,292	△ 82	4,851	6,337	76.6%	△ 1,485
売上総利益	2,296	2,536	△ 239	3,096	3,245	95.4%	△ 148
販管費	2,613	2,736	△ 122	2,511	2,780	90.3%	△ 268
営業利益	△ 317	△ 200	△ 117	584	465	125.7%	119
経常利益	△ 325	△ 211	△ 114	562	451	124.8%	111
当期純利益	△ 439	△ 302	△ 137	439	332	132.3%	107

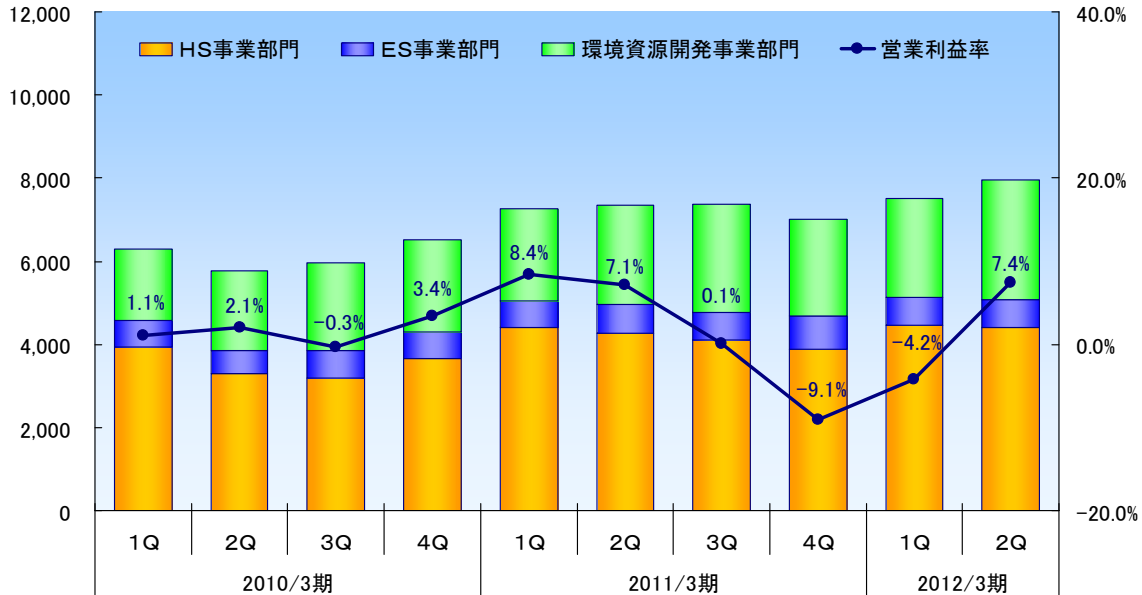
第2四半期 セグメント別損益の実績と計画差異

(単位:百万円)	2012/3期							
	第1四半期			第2四半期				
	実績値	計画値	計画差異	実績値	計画値	計画比	計画差異	
HS部門	売上高	4,463	4,840	△ 376	4,405	6,070	72.6%	△ 1,664
	売上総利益	2,185	2,410	△ 224	2,291	2,307	99.3%	△ 15
	販管費	1,417	1,522	△ 104	1,420	1,600	88.8%	△ 179
	営業利益	768	888	△ 119	871	707	123.2%	164
ES部門	売上高	677	765	△ 87	663	907	73.2%	△ 243
	売上総利益	214	260	△ 45	212	320	66.4%	△ 107
	販管費	226	225	1	212	240	88.3%	△ 28
	営業利益	△ 11	34	△ 46	△ 0	79	—	△ 79
環境資源	売上高	2,364	2,223	141	2,878	2,605	110.5%	273
	売上総利益	△ 104	△ 134	29	592	618	95.9%	△ 25
	販管費	387	366	21	371	378	98.2%	△ 6
	営業利益	△ 491	△ 500	8	221	240	92.3%	△ 18
配賦不能	営業利益	△ 582	△ 622	40	△ 508	△ 561	—	53

第2四半期 セグメント別四半期推移

■セグメント別 売上高・営業利益率の推移

(単位:百万円)



Copyright(C) SANIX INCORPORATED. All Right Reserved

6

第2四半期 HS事業部門

■営業展開を修正したことにより計画比減収、営業利益は計画比増益

第2四半期累計期間において営業展開の修正を行い、既存商品販売に注力。太陽光発電システム販売に比べ、低単価の既存商品販売にシフトした結果、計画比大幅な減収となった。

利益面においては、利益率の高い既存商品販売が計画比増収となったことにより、営業利益は計画比2.8%増の1,639百万円となった。

	2011/3期		2012/3期			
	2Q累計		2Q累計			
	実績値	前期比	計画値	計画比	計画差異	
売上高合計	8,681	8,868	102.2%	10,910	81.3%	△ 2,041
シロアリ防除施工	2,567	2,351	91.6%	2,340	100.5%	11
床下・天井裏換気システム	1,887	1,304	69.1%	1,080	120.8%	224
基礎補修・補強工事	1,205	765	63.5%	760	100.8%	5
家屋補強システム	232	193	83.1%	160	120.7%	33
太陽光発電システム	1,215	2,456	202.0%	5,130	47.9%	△ 2,673
その他	1,572	1,797	114.3%	1,440	124.8%	357
営業利益	2,260	1,639	72.5%	1,595	102.8%	44

Copyright(C) SANIX INCORPORATED. All Right Reserved

7

第2四半期 ES事業部門

■太陽光発電システムの販売体制整備に時間を要し、計画未達

賃貸・分譲物件管理会社向け法人営業において、既存提携先との関係深耕については概ね順調であるものの、太陽光発電システム販売の体制整備に時間を要したため、新規提携先の獲得が想定を下回り、主力商品である防錆機器取付施工及び太陽光発電システム販売が計画比減収となった。

なお、売上高の計画比減収に伴い、12百万円の営業損失となった。

	2011/3期		2012/3期			
	2Q累計		2Q累計			
	実績値	実績値	前期比	計画値	計画比	計画差異
(単位:百万円)						
売上高合計	1,322	1,341	101.4%	1,672	80.2%	△ 330
防錆機器取付施工	326	224	68.9%	340	66.1%	△ 115
建物給排水補修施工	391	412	105.3%	381	108.3%	31
建物防水塗装補修施工	257	208	81.1%	193	108.2%	15
太陽光発電システム	1	178	—	426	41.8%	△ 247
その他	345	316	91.8%	332	95.5%	△ 15
営業利益	117	△ 12	—	114	—	△ 126

第2四半期 環境資源開発事業部門

■計画比増収となり、営業利益も概ね計画水準で進捗

苫小牧発電所においては、当第1四半期に実施した定期修繕以降は安定的連続運転を継続しており、廃プラ加工処理収入については引き続き搬入量が増加し、計画比11.9%増となった。

また、有機廃液処理・埋立処分等収入についても引き続き堅調に推移し、部門全体で計画比増収となった。なお、営業利益はほぼ計画通りの進捗となっている。

	2011/3期		2012/3期			
	2Q累計		2Q累計			
	実績値	実績値	前期比	計画値	計画比	計画差異
(単位:百万円)						
売上高合計	4,605	5,243	113.8%	4,828	108.6%	415
廃プラ加工処理	2,488	2,912	117.1%	2,603	111.9%	309
有機廃液処理	694	822	118.4%	755	108.9%	67
売電収入	690	802	116.1%	790	101.5%	12
埋立処分等収入	459	394	85.8%	370	106.5%	24
その他	272	311	114.4%	310	100.6%	1
営業利益	△ 188	△ 270	—	△ 260	—	△ 10

2012年3月期 業績見通し

2012年3月期 通期業績見通し

通期業績見通し

売上高	：	38,000百万円	（前期：	28,979百万円）
営業利益	：	1,300百万円	（前期：	501百万円）
経常利益	：	1,250百万円	（前期：	430百万円）
当期純利益	：	830百万円	（前期：	49百万円）

HS事業部門

当第2四半期より取り組む予定であった太陽光発電システム販売について、依然として需要は旺盛であることから、当第3四半期より積極的な販売を展開し、当初計画水準まで引き上げる。

ES事業部門

新規提携先の獲得に努め、主力商品である防錆機器取付施工及び太陽光発電システム販売に注力する。

環境資源開発事業部門

廃プラ加工処理においては搬入量が堅調に推移しているため、引き続き燃料品質の改善を実施することにより、外販拡大及び苫小牧発電所の稼働率向上に取り組む。

苫小牧発電所においては、引き続き安定的連続運転による稼働率の向上、及びオペレーションによるコストの削減により、収益改善を見込む。

2012年3月期 通期業績見通し

(単位:百万円)	2012/3期									
	2Q累計	下半期					通期			
	実績値	修正 計画値	前期比	当初 計画値	差異	修正 計画値	前期比	当初 計画値	差異	
売上高	15,452	22,547	156.9%	20,590	1,957	38,000	131.1%	38,000	—	
HS部門	8,868	14,811	185.7%	13,655	1,156	23,680	142.2%	24,565	△ 885	
ES部門	1,341	1,568	105.4%	1,783	△ 214	2,910	103.5%	3,455	△ 545	
環境資源	5,243	6,166	125.7%	5,152	1,014	11,410	120.0%	9,980	1,430	
売上原価	10,060	15,364	150.7%	14,315	1,049	25,425	135.9%	25,944	△ 519	
売上総利益	5,392	7,182	172.0%	6,275	907	12,575	122.4%	12,056	519	
販管費	5,125	6,149	127.9%	5,240	909	11,275	115.4%	10,756	519	
営業利益	266	1,033	—	1,035	△ 1	1,300	259.0%	1,300	—	
経常利益	237	1,012	—	1,010	2	1,250	290.7%	1,250	—	
当期純利益	△ 0	830	—	800	30	830	—	830	—	

■当第2四半期累計実績を踏まえ、環境資源開発事業部門については引き続き堅調に推移するものと想定。HS事業部門は、当第3四半期以降太陽光発電システムの積極的な販売推進により、当下半期において当初計画比増収を見込む。各セグメント毎に当初計画比増減はあるものの、通期全体での売上・利益計画は当初計画水準となる見通し。

2012年3月期 セグメント別損益の見通し

(単位:百万円)		2012/3期									
		2Q累計	下半期					通期			
		実績値	修正 計画値	前期比	当初 計画値	差異	修正 計画値	前期比	当初 計画値	差異	
HS部門	売上高	8,868	14,811	185.7%	13,655	1,156	23,680	142.2%	24,565	△ 885	
	売上総利益	4,477	5,072	171.6%	4,525	547	9,550	119.9%	9,242	308	
	販管費	2,837	3,809	146.1%	2,935	874	6,647	124.1%	6,057	590	
	営業利益	1,639	1,263	363.6%	1,590	△ 326	2,903	111.3%	3,185	△ 282	
ES部門	売上高	1,341	1,568	105.4%	1,783	△ 214	2,910	103.5%	3,455	△ 545	
	売上総利益	427	542	114.6%	628	△ 85	970	99.6%	1,208	△ 238	
	販管費	439	418	95.7%	472	△ 53	858	104.6%	938	△ 80	
	営業利益	△ 12	124	340.4%	156	△ 31	112	72.9%	270	△ 158	
環境資源	売上高	5,243	6,166	125.7%	5,152	1,014	11,410	120.0%	9,980	1,430	
	売上総利益	487	1,567	209.8%	1,122	445	2,055	153.7%	1,606	449	
	販管費	758	796	102.9%	762	34	1,555	100.1%	1,506	49	
	営業利益	△ 270	770	—	360	410	500	—	100	400	
配賦不能	営業利益	△ 1,090	△ 1,124	—	△ 1,071	△ 53	△ 2,215	—	△ 2,255	40	

2012年3月期 HS事業部門見通し

<HS事業部門見通し>

■太陽光発電システム販売について

- 当社顧客向け直販—営業展開の修正に伴い、当第3四半期以降積極的な販売を展開。
- 販売店向け卸販売—販売店の新規開拓を行うほか、引き続き販売店向けサポート体制を強化。

■既存商品販売について

- 太陽光発電システムの販売推進に伴い、当初計画比減収の見通し。

(単位:百万円)	2011/3期 実績	2012/3期 修正計画	2012/3期 当初計画	当初計画比 増減
売上高	16,656	23,680	24,565	△885
売上総利益	7,964	9,550	9,242	+308
販売管理費	5,356	6,647	6,057	+590
営業利益	2,607	2,903	3,185	△282

2012年3月期 HS事業部門見通し

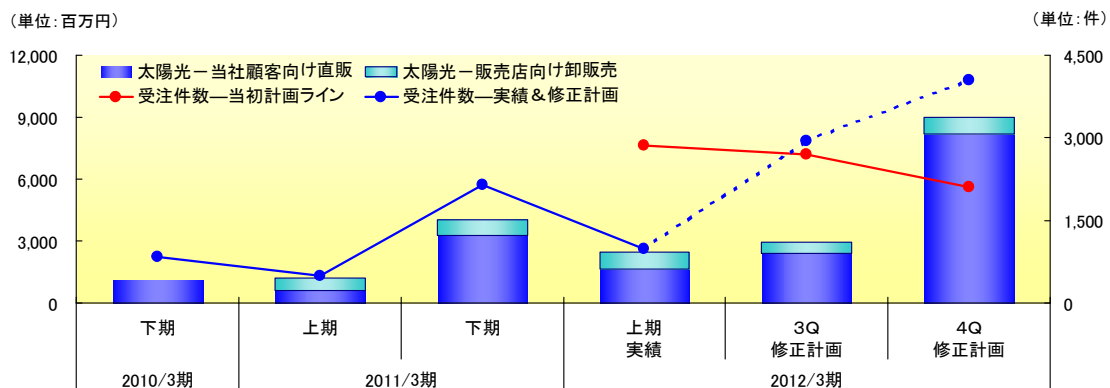
「太陽光発電システム」の販売計画

- 当社顧客向け直販において、当第3四半期中を目途に一部既存商品販売の営業要員を除き、地区単位で段階的に太陽光発電システム販売へシフト。

【10月⇒九州地区 11月⇒中国・四国地区を追加 12月⇒関西・中京地区を追加】

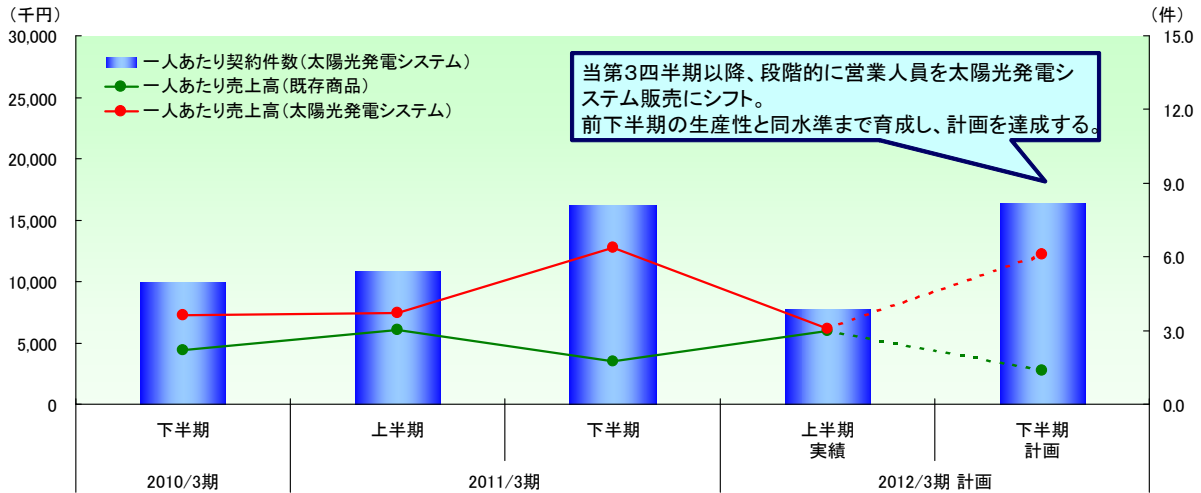
- 当第2四半期累計実績では前年同期比約2倍の販売実績となったこと、及び当社中国子会社の本格的な稼働開始により、材料コストが低減され、利益率が改善される見通し。

■HS事業部門 太陽光発電システム売上高(施工・納品実績)及び受注件数の推移



2012年3月期 HS事業部門見通し

■HS事業部門 営業一人あたり生産性推移



- 営業人員を各個人の適性に合わせて、太陽光発電システム販売要員と既存商品販売要員に分けることにより、各々の販売活動において生産性を高める。
- 営業活動について、成功事例の水平展開や知識面の向上を図るための研修を行い、売上拡大に努める。

2012年3月期 ES事業部門見通し

<ES事業部門見通し>

■新規提携先の獲得に注力

- 販売体制の整備を終え、賃貸・分譲物件管理会社の新規開拓を推進。

■太陽光発電システム販売について

- 前期同様、年度末前の駆け込み需要を取り込むべく、当第3四半期以降提案件数の増加を図る。

(単位:百万円)	2011/3期 実績	2012/3期 修正計画	2012/3期 当初計画	当初計画比 増減
売上高	2,811	2,910	3,455	△545
売上総利益	974	970	1,208	△238
販売管理費	820	858	938	△80
営業利益	153	112	270	△158

2012年3月期 環境資源開発事業部門見通し

<環境資源開発事業部門見通し>

■ 燃料品質が向上したこともあり、資源循環型発電事業は引き続き堅調に推移

- 廃プラ加工処理においては燃料の外販拡大を視野に入れ、更なる燃料品質の向上を推進。
- 苫小牧発電所は引き続き安定稼働を継続するため、当下半期にメンテナンスのための計画停止を実施。

■ 有機廃液処理について

- 全体に占める割合は少量であるが、高単価の特別管理廃棄物搬入量が徐々に増加。堅調な推移を見込む。

(単位:百万円)	2011/3期 実績	2012/3期 修正計画	2012/3期 当初計画	当初計画比 増減
売上高	9,511	11,410	9,980	+1,430
売上総利益	1,337	2,055	1,606	+449
販売管理費	1,553	1,555	1,506	+49
営業利益	△215	500	100	+400

2012年3月期 環境資源開発事業部門見通し

■ 資源循環型発電事業の現況

- 廃プラ加工処理は搬入量が堅調に推移(当第2四半期累計実績では前年同期比18.7%増)。
- 苫小牧発電所は定期修繕を終え、大きなトラブルなく安定的連続運転を継続中。

下記取り組みにより、収益を更に改善!



廃プラ燃料 ブランド化への取り組み

● 更なる燃料品質の向上

前期より推進した燃料品質の向上により、異物除去等に一定の成果が得られたことから、今後は高カロリーな廃プラ燃料製造への取り組みも実施し、苫小牧発電所の更なる収益改善を試みる。

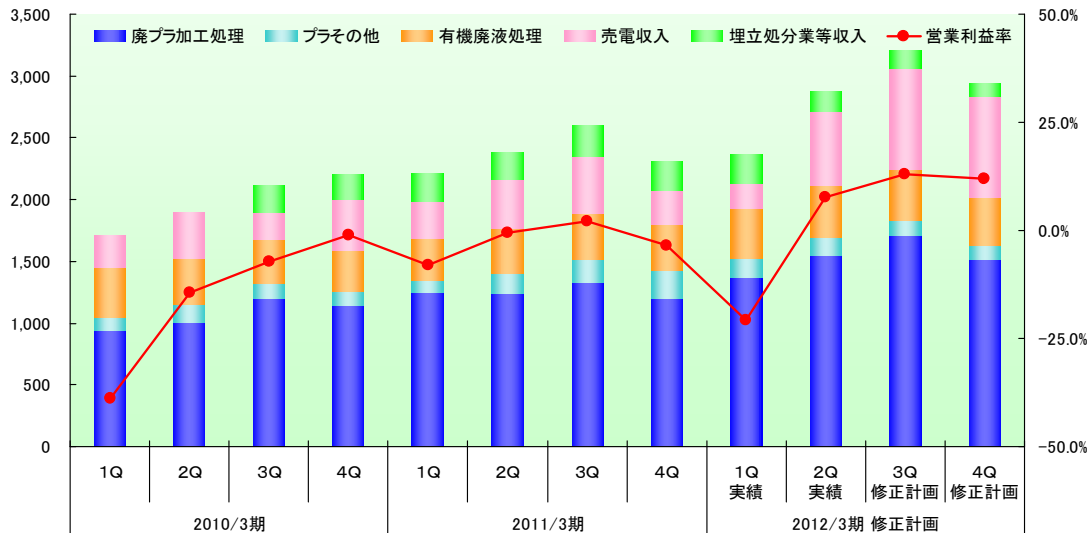
● 販売先別(用途別)に廃プラ燃料の品質を分けて製造する仕組みを構築

廃プラ加工処理において、搬入量が堅調に推移していることから、苫小牧発電所向け廃プラ燃料以外に、販売先の要望に応じた燃料製造の仕組みを構築し、廃プラ燃料のブランド化を図る。
廃プラ燃料をブランド化することにより、燃料の外販を拡大し、更なる収益改善を図る。

2012年3月期 環境資源開発事業部門見通し

■売上高・営業利益率の推移

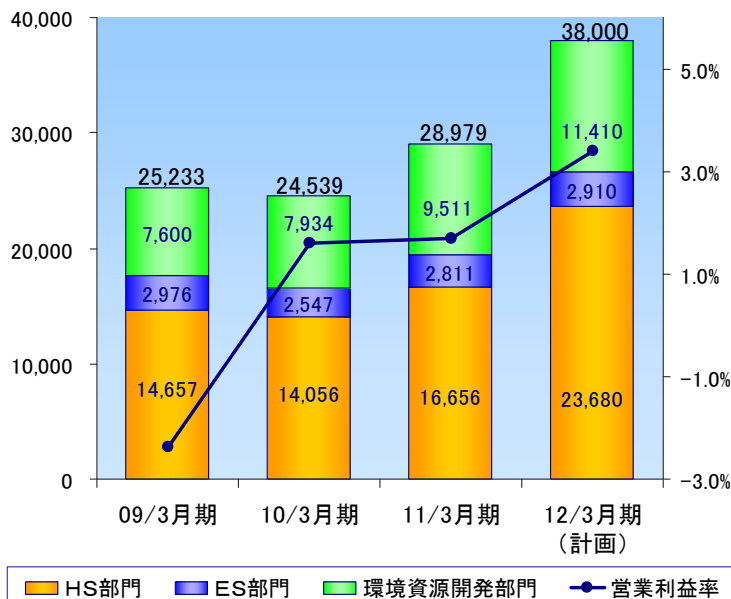
(単位:百万円)



2012年3月期 全社見通し

■セグメント別売上高・営業利益率の推移

(単位:百万円)



2012年3月期見通し

売上高：38,000百万円

営業利益：1,300百万円

営業利益率：3.4%